

金銭教育イベント「夏休み特別企画 親子で楽しく学ぼう！第13回 お金ってなに？」—大学生の「お金のミニ講座」—

団体名●石川県金融広報委員会、石川県銀行協会、石川県信用金庫協会・こども学科/代表者名●芥川元喜(人間科学部准教授)

はじめに

子どもたちが夏休みに入った7月25日、金沢21世紀美術館のシアター21で行われた「夏休み特別企画 親子で楽しく学ぼう！第13回 お金ってなに？」に人間科学部こども学科の3年生6名が参加した。この企画は、石川県金融広報委員会、石川県銀行協会、石川県信用金庫協会が主催で、毎年、この時期に金沢



21世紀美術館のシアター21を会場に行われている親子を対象とした金銭教育イベントである。今回で13回

目であるが、今年初めて、金沢星稜大学から参加をした。学生が担当したのは、大学生の「お金のミニ講座」である。

このイベントには様々なお金に関する学びが親子で楽しくできる企画が多く用意されている。その企画の1つ、「お金のミニ講座」として、大学生による講座が設けられ、そこでお金に関する講座を行った。午前の部2回と午後の部2回、合わせて4回の講座を担当した。講座の授業デザインは全て、学生たちが考え、話し合い、作り上げた。

大学生の「お金のミニ講座」の内容



1つ目の講座は、「おかねってなんだろう？」をテーマに、お金に関わる知識や、お金の歴史について、考えながら楽しく学べる講座である。生活に欠かせないお金の重要性やどうしてお金の世界で使うことが

できるのか、子どもたちに分かりやすく伝える工夫を考え、演技やクイズを取り入れて、授業を行った。

2つ目の講座は、「いい買いものってなんだろう？」をテーマに「いい買いものとは何か」を子どもたちの生活で身近に起きるいろんな出来事をシミュレーションし、考えてもらう講座である。答えを与えるのではなく、子どもたち自身で考えることを大切にしたい講座を行った。そして、「かんがえてかうひと＝おかいものマスター！」としてまとめをした。



成果、結果の考察

どちらの講座にも多くの子どもたちと保護者の方が参加してくれた。学生たちの発問に対して、子どもたちから多くの挙手がなされ、みんな、意欲的に参加してくれた。ご来場を頂いた保護者の方からは「お金について親子で考えるきっかけになった」、「子供の心に何か響いたものがあった」とのコメントを頂いた。また、主催の石川県金融広報委員会の方から「学生さんの講座は、来場者の親子からは大変好評でございました」とのコメントを頂いた。

参加した学生は、前日準備、リハーサルも含めて、教材研究、授業デザイン、多くの時間を費やしたが、その取り組んだ分、講座では、子どもたちが真剣に考えてくれた考えや笑顔に出会うことができ、大きな学びを得ることができた。このように、石川県金融広報委員会の方々と連携し、子どもたちのために活動出来たことは、学生たちの大きな財産となった。また、教育を学ぶ学生にとって、金銭教育のこれからの在り方を考える上でも大切な機会となった。